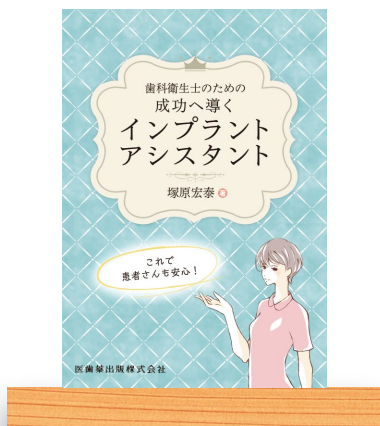


“これで歯科衛生士も患者さんも
安心”なインプラント本！



歯科衛生士のための
成功へ導くインプラントアシスタント
塚原宏泰 著

A5判/112頁 定価 4,180円(本体 3,800円+税 10%)
医歯薬出版 (2020年9月)

医療法人社団池田歯科クリニック (札幌市)
評・佐藤昌美 (歯科衛生士)



本書は、東京は神田のおとなり御茶ノ水にある塚原デンタルクリニック院長・塚原宏泰先生が書かれた歯科衛生士のためのハンドブックです。テーマはずばりインプラントの超基本！自分に厳しく、スタッフには優しい塚原先生が、日本医歯薬専門学校歯科衛生士学科で行った「インプラントアシスタント」の授業に、解剖学や放射線学などの知識を盛り込み、さらに噛み砕いてわかりやすくした内容になっています。

かくいうワタクシ（通称さとちゃん）が歯科衛生士専門学校を卒業したのは30年前。学生時代の2年間でインプラントについて学んだかどうかいまとなっては記憶が曖昧です。日々、歯周治療にかかわり、口腔内にあるいろいろなインプラントをみるなかで「そもそもインプラントってなんだろう？」と考え込むこともしば

しば。今回はそんな超初心者な疑問を解決するため、本書の第1章基本編をじっくり読みました。

え？ いまさら？ 誰かにみられたらちょっと恥ずかしい？ いえいえ、コンパクトで表紙のティファニーブルーが映える本書、^{まっそう}颯爽とバックパックからとりだしおしゃれカフェで読む姿は、いまだきのできる歯科衛生士さんそのものなので大丈夫。

2020年は、全世界がこれまで以上に“健康”と“感染予防”への取り組みを意識した年になりました。本書でいま一度「不潔」と「清潔」の概念をおさらいして、基本がOKなのを確認しましょう。次の第2章実践編で解説されているのは、インプラント手術の一連の流れになります。口腔外科出身の塚原先生らしい視点から、手術の1週間前や直前の準備、手術中の器具の受け渡しなどのアシスタント、バイタルサインの見方、手術後の後片づけのことが順番に書かれていて、とても参考になりますよ。また、第3章では私たち歯科衛生士が一番活躍する“患者さんとのかかわり方”が述べられています。信頼関係の確立の仕方、インフォームドコンセント、さらにメンテナンスで何をみるかにふれるこの章は、たくさんの臨床写真といっしょにインプラント治療を成功させるヒントが散りばめられています。おわりの第4章は、塚原先生の「患者さんをみる」という考え方をとおして、患者さんに寄り添う私たちに必要なのは、知識、スキル、それとも医療に対する情熱？（さとちゃんの院長はパッションとってます）と皆さん一人ひとりに語りかける内容です。本書を読み終わった後、インプラント治療のその先にある「患者さんの生きる力をサポートする」歯科衛生士の役割にきっと気づくことでしょう。本書からの学びが、臨床の楽しさと喜びを知るきっかけになることを心から願います。